



流石やすし

富士北麓・東部地域のみなさまの声を
県政に届けます

県政報告 Vol.15 令和5年1月発行



あなたの声を

大事にします。
反映します。

そして、県政を力強く前に進めます。豊かで明るい未来のために!!

～新しい時代を皆様とともに創り上げます。～

明けましておめでとうございます。昨年は格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年末の「県政報告会」には地域の多くの皆様にご参加いただき、深く感謝を申し上げるとともに、大きなご期待をしっかりと受け止め、今後、私の果たすべき任務の重大さを再認識するなかで新たな決意と覚悟をいたしました。

政治の使命は、地域の皆さまの諸課題を解決に導き、生活を支え、地域の皆様に真に役立つためにあると考えています。富士北麓地域・東部地域の皆さまの豊かさを求めて、希望あふれる未来のために精進してまいる所存です。今後とも変わらぬご指導・お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



長崎幸太郎知事



流石やすし関連質問

◎新型コロナウイルス感染症は、ウイルスの変異もあり引き続き警戒が必要です。

日頃から、感染症の基本的対策の徹底をお願いします。

お一人おひとりが「かからない」「うつさない」ための対策をお願いします。

12月定例県議会

令和4年12月定例県議会は

12月1日開会し、12月16日に閉会しました。

2022年度一般会計補正予算案421億1,661万7千円や条例案など50案件が可決・認定された。令和4年度一般会計11月補正現計予算額は、令和3年度同予算と比較して554億774万1千円の増額で109.3%である。

知事所信表明要旨

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行対策

医療がひっ迫する場合には、より受診を必要とする方を優先していく。このため、重症化リスクの低い方は、まずは検査キットによるセルフ検査を行っていただくこととし、県民への協力を呼び掛ける。

原油価格・物価高騰対策

物価上昇は出口が見えない状況だが、この先も国の支援が続く保証はないことから、中長期的に効果が続く対策を図り、一

般の家庭や事業者への支援策を予算に計上していく。

残る任期を迎えて

就任後すぐに着手し中部横断自動車道の県費負担の大幅な削減を実現するなど、知恵と創意工夫で価値を生み出すという挑戦の第1歩であった。以後、自然災害や感染症の発生などの数々の試練に見舞われながらも「明日の山梨」を構築する責務を片時も忘れることなく、逆風にあっても常に前傾姿勢を保ち、山梨を前に進めてきた。

メディカル・デバイス・コリドー構想の下、ビジネス環境の充実を図った結果、医療機器関連分野に新たに参入する企業が増

え、生産額も大幅に増加した。

いかなる家庭環境の子どもであっても、希望を失わず夢を掲げて学び続けられるような教育を実践したいとの思いから、全国で初めて公立の小学校1年生・2年生に25人学級を導入した。

県全体の富・利益と、個々人の幸福感と豊かな実感を大切に、生活・家庭から各産業に至る全ての局面で、富と豊かさが全ての県民に開かれた「開(かい)の国」という理念を果敢に具体化する。

今を補うだけでなく、明日、その先を見据えた資源と資本を活用した「ふるさと強靱化」の流れを加速させ、「豊かさ共創社会」を目指す。

◎令和4年度12月補正予算の概要

《原油価格・物価高騰対策》

- (新)物価高騰対策緊急生活支援金 (7億円)
・急激な物価高騰による影響を緩和し、低所得者の生活の安定を図るため、支援金を支給する。
- (新)生活困窮世帯緊急食糧支援事業費補助金 (2,303万円)
・急激な物価高騰による影響を緩和し、生活困窮世帯の生活の安定を図るため、民間団体が行う食料支援の取り組みに対し助成する。(NPO法人フードバンク山梨への補助)

- (新)家庭用省エネ機器導入支援事業費 (10億3,600万円)
・光熱費の高騰に直面する家庭のエネルギーコストの削減を推進するため、省エネルギー機器導入に対しポイント等の付与を行う。
- 省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金 (29億6,730万円)
・原油価格等の高騰に直面する事業者のエネルギーコストの削減を推進するため、省エネルギー設備、再生可能エネルギー発電設備の導入に対し助成する。

《地域経済の活性化・事業者支援》

- 貸金アップ環境改善事業費補助金 (2億3,300万円)
・中小企業者等の賃上げを推進するため、生産性向上に資する設備投資や人材育成等を支援する。

- 商工業振興資金貸付金 (50億円)
・個人事業者や中小企業者等の経営安定化を図るため、新規融資制度を創設する。
- 施設園芸等経営強化支援事業費 (1億4,910万円)
・施設園芸農業者等の生産コスト削減や生産性向上を図るための取り組みを行う。
- 畜産経営基盤パワーアップ事業費補助金 (9,776万円)
・畜産農家の経営安定を図るため、生産力強化や効率化に向けた取り組みに対し助成する。
- やまなしグリーン・ゾーン旅割事業費 (41億6,689万円)
・感染拡大を防止しつつ、観光産業を支援するため、県内旅行を促進する取り組みを行う。

《新型コロナウイルス感染症に対応した緊急対策》

- 新型コロナウイルス感染症医療従事者応援事業費 (1億9,602万円)
・新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備え、新型コロナ患者の診療等に携わる医療従事者を支援するため、応援金を支給する。
- 新型コロナウイルス感染症医療提供体制強化事業費 (9億4,500万円)
・感染拡大の防止や医療提供体制の強化を図るための取り組みを行う。

- 新型コロナウイルス検査体制強化事業費 (4億4,051万円)
・感染症患者の早期発見、早期治療を徹底するため、検査体制を強化する。
- 《県土強靱化、安全・安心の確保等》
- 防災・減災、県土強靱化等を推進する公共事業費 (238億6,397万円)
・激甚化する自然災害への対策やインフラの老朽化対策など、防災・減災、県土強靱化等を推進するための公共事業を実施する。
- (新)子どもの安心・安全対策支援事業費 (4,724万円)
【※保育園・学校バスに安全装置購入補助金】
・送迎時の子どもの安全対策を強化するための取り組みを行う。

- (新)盛土規制法に基づく規制区域指定基礎調査事業費 (3,055万円)
・盛土に伴うリスクのあるエリアの抽出等、特定盛土等規制区域指定のための基礎調査を行う。



常任委員会にて

『県政報告会、開催』 『知事とともに実現した4年間の足跡』



令和4年12月11日(日)
勝山ふれあいセンター さくやホール
森屋 宏 参議院議員



令和4年12月18日(日)
忍野村生涯学習センター 多目的ホール
永井 学 参議院議員

新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じる中で日頃お世話になっている皆様にお集まりをいただき盛況のうちに『県政報告会』を開催しました。

《ご来賓の皆様》

山梨県知事 長崎幸太郎 様・参議院議員自由民主党山梨県支部連合会長 森屋 宏 様・参議院議員 永井 学 様・衆議院議員 堀内詔子 様(代理)・富士河口湖町長 渡辺喜久男 様・鳴沢村長 小林 優 様・道志村長 長田富也 様・山中湖村長 高村正一郎 様・忍野村長 天野多喜雄 様・前山梨県議会議員 渡辺英機 様・元山梨県議会議員 高村権一 様・元忍野村長 田辺弘巳 様・山梨県議会議員自由民主党新緑の会 市川正末 様・桐原正仁 様・杉原清仁 様・臼井友基 様・長沢 健 様

報告内容 4年間の主な実績

- 福祉の充実を目指して
⇒介護待機者ゼロの実現へ：
特養定員数5,242人(H30年度比6%増)：
令和8年度中にゼロを実現
⇒地域における「フレイル予防」の更なる推進
- 子どもの個性と可能性を最大限に育む施策
⇒ヤングケアラーの支援：
ヤングケアラーを政策課題化し、支援体制を構築：**「支援ネットワーク会議、設置」**
⇒全国初の『**少人数学級(25人)**』を導入
- 安心して子育てができる施策
⇒待機児童ゼロのセカンドステージのスタート！：
「いつでも、希望する保育園に入れる」ための施策に着手
⇒子どもに寄り添う：**医療ケア児支援センターの新設、保育士・保育所支援センターの新設**
- 子どもの生命と安全を守る施策
⇒児童福祉司を育てる専門職大学院の設置
⇒病児・病後児保育施設の利用を促進
- 障がい者に寄り添う施策
⇒**重度心身障がい者の医療費窓口無料化《実証実験スタート》**
⇒農福連携の就労マッチング件数の増加(H30：27件⇒R3年末：181件 ※6.7倍)
⇒障がい者の法定雇用率達成企業57.3%(伸び率：全国2位)
- 感染症に強いまちづくり
⇒グリーンゾーン認証制度の創設：県CDC(感染症対策センター)の設立・中小企業、小規模事業に対するの強力な支援

⇒全国の中高生が山梨へ修学旅行者数全国4位：
伸び率全国1位

- 強靱な県内経済の構築
⇒メディカル・デバイスコリドー構想の推進：
県内の優れた技術の会社を医療機器関連分野へ導く：**61社から123社に倍増**
⇒企業誘致の推進：
増加雇用者数1,429人(R1年～)38%の増加
⇒多くのミュージシャン、芸能人を育てた『**アミューズ**』本社の富士河口湖町西湖地区への誘致
⇒移住・二拠点居住の推進により**転入超過に転換**：
転入者数増加率は全国トップ

- 強靱な農業・林業・畜産の構築
⇒果樹等盗難防止の新補助制度創設
⇒桃の「せん孔細菌病」を撲滅
⇒**農業のDX化**：ビックデータを活かした農畜産業の生産性向上
⇒家畜伝染病対策：**経口ワクチン・防鳥ネットの拡充**
⇒林業の活性化・再生可能エネルギー施策：**間伐材、枝葉を活用した木質バイオマスの利用促進**

- 住環境の改善・円滑な交通と歩行者の安全確保
⇒西湖南地区・西湖西地区・精進地区移住地払い下げ課題解決に向け着手
⇒山中湖村「長池地区」防災工事
⇒山中湖畔サイクリングロードの整備に着手
⇒**県道河口湖精進線(河口湖北岸の県道)の整備(拡幅改良)**
⇒大橋通り・富士河口湖町合併支援道路への外灯の設置に着手

- 自然環境の向上・魅力向上
⇒**富士五湖自然首都圏フォーラム設立**：

『富士五湖地域、を新たな時代に求められる世界に類を見ない先進的地域の創出をめざして』
⇒**河口湖の水質改善に向けた整備方法の検討に着手**
⇒世界遺産にふさわしい富士五湖の環境整備



- 災害に強いまちづくり
⇒公共事業予算の確保：防災・減災、県土強靱化に向けたR7年度までの想定事業費：4,600億円
⇒**足和田バイパス28年度供用開始**
⇒**新御坂トンネル事業着手**(非常用道路と連絡路の併設)
⇒**「県都留⇄道志線」**：
「**新防災トンネル**」事業化に向けての取り組み
⇒国道413号線の雨量通行規制撤廃(県都留道志線の雨量通行規制撤廃に向け着手)
⇒**台風19号による道志川の改修**
⇒忍野村内野地内「**子の神川**」**河川改修**(底張り)・**「新名庄橋付近」護岸工事**
⇒富士山ハザードマップの改定・避難計画の見直し・避難訓練の実施
⇒**県道71号線富士宮鳴沢線(鳴沢村～富士ヶ嶺)整備**



した。
国内最高の観光リゾート地と最先端の首都圏機能を融合させた世界に誇れる先進的な地域の創出を目指して『長崎幸太郎知事』・『堀内詔子衆議院議員』とともに懸命に取り組んでまいります。引き続きご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

2023年は富士山世界文化遺産登録10周年となる記念すべき年です。山梨県は、富士山の『富士山文化遺産登録10周年』を契機として、世界に誇る富士山の裾野に広がる自然豊かな地域であり、日本を代表する観光リゾート地でもある『富士五湖地域』を、新たな時代に求められる『自然首都圏、へと発展させていくことを目指し、産学官労社公民の協働組織体「富士五湖自然首都圏フォーラム」を設立しま

